

第1回 玉名市総合戦略審議会 摘録

日時：令和7年8月27日（水）9：30～

場所：玉名市役所4階会議室

出席者：澤田委員、坂口委員、山本委員、本田委員、丸山委員、後藤委員、入江委員、上村委員、小山委員、藤森委員

欠席者：なし

傍聴者：0人

次第

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 挨拶
4. 会長及び副会長の選出
5. 会長挨拶
6. 委員及び事務局の紹介
7. 概要説明
 - (1) 玉名市人口ビジョン及び玉名市デジタル田園都市構想総合戦略について
 - (2) 地方創生2.0について
8. 議題
 - (1) 玉名市デジタル田園都市構想総合戦略の効果検証について
 - (2) 今後のスケジュールについて
 - (3) その他
9. 閉会

概要説明

- (1) 玉名市人口ビジョン及び玉名市デジタル田園都市構想総合戦略について
- (2) 地方創生2.0について

(事務局より説明後)

会長

・概要説明について、委員の皆様から質問あるいは意見等あればお願いしたい。

会長

・地方創生2.0で、国は今年度中に総合戦略を策定し、市町村は、国及び県の総合戦略を見据えてという話だが、県は昨年度新たに策定されたばかりだが、どうなる予定なのか。

委員

・昨年 12 月にくまもと新時代共創総合戦略を策定したところである。その情報は把握していないが、4 年間のビジョンとしての策定だが、制度的に必要であればその動きとなる。

会長

・玉名市では次期総合計画の中で総合戦略を盛り込んでいく形だが、国の動きもにらみながらという感じであり、また国の動きがあれば、事務局も各委員へ伝えていただきたい。

議題

(1) 玉名市デジタル田園都市構想総合戦略の効果検証について

(事務局より説明後)

会長

・議題 1 について、委員の皆様それぞれの専門や興味関心があるところでも構わないので、質問あるいは意見等あればお願いしたい。

委員

- ・「玉名の逸品」について、ある程度ブランド化が必要ではないかと思うが選考基準が明確になっているのか。また、それなりの評価があったとしても、しっかりと市場へ供給できないと今度は逆に信頼を失うが、どのような取り組みをされているのか。
- ・関係人口の創出・拡大だが、登録者数が増えているのは非常にいいことだが、登録者数が増えただけではなく、中身がないといけない。ちゃんと閲覧しているかなどフィードバックの部分の検証も必要と感じた。
- ・学校生活が楽しいと答えた児童・生徒の割合だが、やはり 100% でなければいけないと思う。1 人でもいて、その理由がいじめであれば大きな問題である。担当課の意見の部分で熊本県の数値を上回っているという表記も必要だろうが、やはり最後まで 100% を目指す思いも入れていただきたいと感じた。

事務局

- ・「玉名の逸品」については、これまで玉名ブランド物産協会や 6 次産業関連事業者など、それぞれに行ってきたものをまとめた形で PR していく形だが、明確な認定基準等があるかは担当課へ確認する。ただ、PR と併せて玉名観光協会の中で物産販売部会の体制づくりもされており、玉名の逸品として商談会やセミナーに参加される方へ玉名観光協会への加入を促し、玉名の逸品の確立や玉名観光協会の新たな裾野を広げる方向性と認識している。
- ・玉名市応援団については、これまで情報誌を年数回お送りしていたものを、昨年度よりたまなファンクラブとしてデジタルで運用している。市公式 LINE に友だち登録から、たまなファンクラブに設定いただくことで市の魅力、移住定住の情報、ふるさと納税を通じた旬の物産情報を紙媒体より頻繁に配信できている。市公式 LINE なので現状では一方的な発信ではあるが、そこからふるさと納税サイトへ移動できる流れもあり、結果として玉名市へのふるさと納税や移住定住に関して本市へ連絡があらわれると思われる。担当課へ確認した内容として、まずは玉名市を知ってもらうことを目的に市外イベント等で積極的に説明し、これだけ登録者数は伸びた。最終的には情報提供だけでなく、関係人口として本市の地域課題を解決してもらうようなイベント等につなげていけたらという展開までは計画として確認している。

- ・学校生活が楽しいと答えた児童・生徒の割合については、もちろん玉名市として 100%を目指すところであり、教育委員会や各学校で楽しいと答えることが難しかった児童生徒に寄り添った形でそれぞれ努めているところである。実績値が下がっているのは今回より集計元のアンケートを変更した影響もあると考えている。

委員

- ・最後の部分は思いとしてだが、目標に近づいたからというより 0 か 1 かくらいの気概で取り組んでいただきたいということである。

事務局

- ・担当課へ伝える。

委員

- ・企業ガイダンス開催については、非常にいい事だと思う。一旦は都会に出ていく人も多く、なかなか新卒を採用するのは難しい。ただ、2、3年後に戻ることを希望する方もいる。素晴らしい地元企業が多いと思うので、企業個別をもっと詳しく伝えることが必要と感じる。高校生となると自立のために自分で判断しなければならないだろうが、親へ意見を聞くという面も当然ある。そうなると、大企業だからと都会に出て行ってしまうので、親へ地元企業の魅力をもっと広めたほうがいいと感じる。
- ・大牟田市から働きにいられている方も結構いるので、広げていいのでは。実際、このあたりで大牟田高校へ行かれている方もおり、その辺も含め広げていいと感じた。

事務局

- ・玉名圏域定住自立圏と県が共催し、荒玉地域の高校 2 年生向けの荒尾・玉名地域企業ガイダンスである。生徒、保護者、進路担当の先生方へ参加を募り、圏域の企業 40 社程で実施している。保護者も参加出来、まずは圏域内にある素晴らしい企業を認知してもらい機会づくりに努めている。また、ガイダンス以外にもあらたま就活ナビという Web サイトも構築しており、企業紹介もある。同様に県で作成される冊子にも企業紹介があり、配付等を通じて保護者にも認知、把握していただき地元就職を希望する学生が増えればと考えている。
- ・大牟田市の高校まで参加者を広げることの検討は担当課へ伝える。

会長

- ・前半部分の親への、というのは重要で、高校生に対するガイダンスに保護者も参加出来ますよと言っても高校生は親が来るのを嫌うでしょうし、むしろ保護者に対する就活ガイダンスをやっはという話。やはり高校生の意思決定には親、進路指導の先生の意向は重要と聞くので、その世代のみを狙った就活説明会が効果的と考えるため、是非担当課で検討いただきたい。

委員

- ・別の自治体の企業誘致関連の委員もしており、地方に興味のある首都圏の企業へヒアリングも行っている。その中で地方に興味を持った理由としては、人材の確保が出来そう。特に首都圏は転職で条件の良い方、スキルアップ出来る方への流れから、定着率がより少ない中で人材を取り合っている状況にあり、地方で埋め合わせが出来ればと考えている。あとは、人件費の削減もあり、地方に興味を持たれる企業はとて多い。
- ・ただ玉名市の場合だと、誘致企業は増やしたいけど地元雇用は見込まれないなど、整合性がと

れていない。そのような流れがある中、施策を考える必要があるのでは。例えば補助金の拡充とか、大きい企業に来てもらいそこに対しては補助金は出すが、サテライトオフィスを使うような小規模な事業所に対しては出ないとか、あと誘致の視察に補助金を出すなど、少し考えていただければ。

- ・起業家の創業支援について、令和6年度はセミナー受講者の開業はなかったとのことだが、まず開催されているのか一市民としてわからない。他課で玉名未来創造塾などもあるが、人数がなくて開催できないなどは、もったいない。良いものが出ているが、内容が魅力的でなかったり、十分周知されていなかったりで取りこぼしているのではと感じる。それにも関わらず、現状のまま継続で本当にいいのかとお伝えしたい。
- ・婚活の話は、今熊本市が中心となってされている婚活事業等があるが、やはり婚活は広域的にやらないと意味がない。また、昔に比べると就職や結婚に親の意見が入ってくると感じる。親と子供の関係性等も踏まえた効果検証や施策としてもらえればと思う。

事務局

- ・市としては企業誘致による雇用の創出とともに、既存企業への人材供給も同時に取組を推進していく認識であり、高校生向けガイダンスも実施している。さらにUIターン者なり高校生以外の方に対する企業の説明などはWeb上や、より広域的に熊本市を中心とする連携中枢都市圏事業の中で実施される大規模な企業ガイダンスへ玉名の企業に参加いただき、雇用につなげていく考えである。奨励金制度についての視点については担当課へ伝える。
- ・創業支援セミナーについては、令和6年度は創業セミナー参加者のうち開業した者はいないが、セミナーを受講完了され、その年にすぐに開業されることはあまりないと認識している。昨年度は令和7年1月から全5回のカリキュラムで商工会議所、商工会との共催という形で開催し、それぞれが周知に努めている。セミナーの中身としては、参加者それぞれに目標とされる業種の専門性はあると思うが、まずは基本として資金計画や事業計画の作成の仕方をカリキュラムに入れ実施し、その後のフォローアップとして商工会議所、商工会の伴走支援による個別相談を経て個々の創業につなげていく形としている。玉名未来創造塾の周知については、担当課へ伝える。
- ・婚活事業については広域で取り組んでいく必要性の認識は本市もあり、現在、実施主体は有明広域行政事務組合の荒尾・玉名地域結婚サポートセンターで、玉名市はその構成市として負担金を支出し、会議等で取組を協議している。親世代を通じた、時代の流れに応じた新たな取組、より広域的な取組については担当課へ伝え、会議へつなげてもらう。

委員

- ・インバウンド事業の推進について、外国人宿泊者数は6,137名と大変ありがたいと思う。イベント時に多くの誘客とあるが、日本人も多くの方がいらっしゃると思うので客室数については玉名市は十分なのか。あと、せっかくならスポーツ等イベントだけでなく、例えばゴルフパックや人間ドックパックなどでも、誘客可能ではと思う。
- ・若い世代の結婚希望の実現だが、結婚してから、玉名市に住まいを構える時、玉名市は農振の関係で家をどこにでもは建てられないので難しいというのを若い方達から聞く。農振除外は農業委員会との絡みもあるだろうが、申請から除外までの期間も、もう少し短く出来ないかとの話

も聞いている。

- ・農水産物の振興について、これは、要望事項だが、令和6年度の取組として玉名市からも機械補助などいろんな補助を実施いただいているが最高が3分の1ということで、申請者が多いと10%未満になると聞いている。また今年度、害獣電柵は申請の始まった日に2時間程で終了したと伺っており、補助金の拡大もお願いしたい。

事務局

- ・外国人宿泊者数に関連したイベント参加者の客室の充足については、観光協会の中に宿泊の部会等もあり、連携はとれている。また、新玉名駅周辺にビジネスホテルを誘致出来たことで、今後、より拡大ができるのではと感じている。インバウンド向けのゴルフパックについては、個別のホテルプランとして既にあり好評という話は担当課より確認している。さらに、玉名市の観光計画の中では、ツーリズムの1つとして医療・ウェルネスツーリズムを推奨し、モデルの1つとして、県北部病院での人間ドックとセットとなったプラン造成等も、計画として存在しており、意見は担当課へ伝える。
- ・農振除外の申請から決定までの期間については、農業委員会へ意見を伝える。農業は本市の基幹産業であり、多くの地域が農振地域となっていることは、家を建てる時や企業誘致に影響もあるが、今後、小学校統廃合での跡地や未利用公有地を企業誘致用地や宅地分譲とすることで、若者世代や移住定住につながればと考えている。
- ・機械補助については、国県に補助率が有利なものがあれば案内し、市独自の補助については認定農業者の方と調整を図り、ニーズも確認しメニューを創設している。補助金の予算規模についての意見は担当課へ伝える。

委員

- ・子育て支援の充実について、今年から玉名市は保育所入所のAⅠを導入しているが、実際使っている保育所等と連携しながら、反省点も出てくるかと思う。保育と学童クラブの待機児童数はそれぞれ0人、達成率100%と数字上はうまくいっているが、中身はもう少しデリケートで玉名市に住みたいとか、子育てをしたいというのは、数字で計り知れないところがある。実際、保育園・幼稚園選びで全てが希望の園に入れているかと言えば、そうではないのが現状。その調整を子育て支援課がしてくださり、とても大変だと思う。
- ・3歳から5歳までは保育料が無償だが、学童利用時にお金が発生する。さらに長期休暇時はお弁当持参やプラス料金の上乗せがある。学童クラブに関する支援はどうかなど、そこを掘り下げないと、やはり玉名市を選んで、移住して子育てをとというのは難しい。

事務局

- ・保育と学童クラブの待機児童数については、KPIは数字上達成しているが、もちろん市としてもそれだけで全てがうまくいっているとは思っていない。全ての方が第1希望の場所に入所出来ればベストだが、保育所数や受入定員、位置的な問題もあり複数希望を確認した中で調整し、結果ゼロを達成している。また、市としては、施設を増改築される費用の一部を補助することでより受入定員を確保いただき、多くの方が望むところへ入所できるよう取り組んでいる。
- ・学童クラブ利用者の金銭的負担を減らすような、補助ができないかという話は担当課に伝える。

委員

- ・農水産物の振興について、成果指標は生産量だが、昨今の異常気象の影響か、目標に対して生産量はかなり落ちている。これは今後も続くと思うが、目標値は再検討しなくていいのか疑問。
- ・また、担当課の今後の取り組み、意見が生産量ではなく、農業経営の面で書いてある。もちろん生産量＝お金になるし、経営に関連してくると思うが、量を指標とせざるを得ないのか、仮に販売額であれば、この書きぶりでもと感じた。

事務局

- ・現状、適切なKPIとして、アウトカム指標が設定してある。確かに生産量の増減理由ではなく、社会情勢や農業が抱えてる課題等を記述しているため、今後で適切な形に調整していきたい。

会長

- ・時間の都合上、次の議題に移りたい。

(2) 今後のスケジュールについて

(事務局より説明後)

会長

- ・議題2について、委員の皆様から質問あるいは意見等あればお願いしたい。意見がなければ次の議題に移りたい。

(3) その他

(事務局より説明はなし)

会長

- ・準備された議題については以上となる。

事務局

- ・次回の審議会は1月に開催を予定しており、日程は決まり次第ご連絡する。

以上、議事終了